

2025年度(令和7年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	62.2	29.7	5.4	2.7
女子	68.8	28.1	3.1	0.0

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	64.9	29.7	5.4	0.0
女子	68.8	28.1	3.1	0.0

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	48.6	43.2	5.4	2.7
女子	53.1	31.3	15.6	0.0

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	19.16	16.13	35.47	37.89	40.92	9.45	153.63	22.82	52.27
女子	17.15	16.64	37.79	34.30	38.27	9.69	144.70	15.48	54.15

県平均値かつ全国平均値未満

重点課題および要因

情意面

・体育の授業を「楽しい」「やや楽しい」と感じている児童は、男子約96%、女子96.9%と高く、授業に対する肯定的な意識は良好である。一方で、運動やスポーツそのものに対しては一部の児童に消極的な傾向が見られる。特に、運動が得意ではない児童にとっては成功体験が十分に得られず、自己肯定感の低下の要因になっていると考える。また、技能の優劣や結果が意識されやすく、努力や成長の過程が実感しにくいことも考えられる。

体力面

・男女共に上体起こし、反復横跳びにおいて全国平均を下回り、筋持久力や敏捷性に課題がみられる。男子は、他に20メートルシャトルランの全身持久力にも課題が見られる。この結果の主な要因として、児童の基礎体力不足が挙げられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・「長座体前屈」では、男女共に全国平均を上回ったため引き続き、股割りストレッチの取組を行う。(股関節を柔らかくすることで走るフォームが安定し怪我をしにくい身体になるため。)
- ・「20メートルシャトルラン」では、校内持久走や授業の中で、自分の目標を決め、粘り強く取り組めるようにワークシートを活用して、支援、指導、評価の工夫を行う。(結果を重視するのではなく、頑張った過程を認めていく。)(全身持久力の向上)
- ・「上体起こし」や総合的な体力向上を目指していくために体幹を鍛えていく。(準備体操後プランクを学年に応じて秒数を決めて実施。)(金持久力の向上)

体育の授業以外で行う取組内容

- ・体育レク委員会や児童会と連携し、体力を高めるために「鬼ごっこ大会」や「プランク大会」を実施する。児童同士が協力し合いながら運動を楽しむことができるような取組をしていく。
- ・家庭学習の一環として、腹筋運動や縄跳び、プランクを取り入れ、「がんばりカード」を活用して、児童が継続的に運動できるよう促す。

2026年度(R8年度)の重点目標値

- ・「長座体前屈」「上体起こし」で県平均を上回る。
- ・児童質問用紙の意識調査9の1.2をできる限り100を目指して取り組んでいく。